

## 第 373 回所長会議議事要旨

日 時 令和8年6月30日(火) 13:30 ～ 13:58

場 所 管理棟大会議室 + ウェブ (Teams) 併用

出 席 者

【構成員】 浅井機構長、足立理事、小谷理事、花垣理事、道園理事、齊藤素粒子原子核研究所長、船守物質構造科学研究所長、小関加速器研究施設長、波戸共通基盤研究施設長、小林 J-PARC センター長 (東海キャンパス所長)、東量子場計測システム国際拠点長

【オブザーバー】 三明監事、白木澤監事

【管理局等】 櫻井総務部長、森安財務部長、岩見研究協力部長、山本施設部長、前島安全衛生推進室長、島根監査室長、枝川総務課長、由井人事担当課長、立田職員担当課長、高橋情報基盤管理課長、佐野財務企画課長、山口研究協力課長、小林連携推進課長、根本共同利用支援課長、三國 QUP 業務推進室長、河西国際企画課長、山本施設企画課長、栃木資産マネジメント課長、井坂整備管理課長、福田東海管理課長

議 事

【1】第 372 回議事要録の確認について  
資料 1 のとおり承認された。

【2】協議

(1) 教員の機構内兼務制度について

道園理事から、資料 2 に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(2) 教員の機構内兼務について (素核研・QUP)

東拠点長から、資料 3 に基づき説明があり、覚書に兼務期間を明記することについて疑問がなされた。事務局から、兼務発令には制度上期間を設ける必要はなく、期間を限定しない運用が可能であるとの説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(3) URA の人事について (特定人事・外部連携推進部・特任首席 URA)

足立理事から、別途配信資料に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

【3】報告

(1) 令和 7 年度監事監査報告の概要について

三明監事から、資料 4 に基づき報告があった。なお、浅井機構長より、監査結果を踏まえ、次期中期目標・中期計画の検討、AI 及び DX の推進、人事評価制度の見直し、産学連携体制の強化等を進める方針が示された。また、この報告で示された意見を組織改革の契機と捉え、真摯に受け止めながら改善に取り組んでいく旨、コメントがなされた。

(2) 協定等の締結について (国内機関) (資料配布のみ)

資料 5 は資料配布のみ

以上